

2027 年度博物館実習登録説明会

2027 年度に「博物館実習Ⅰ・Ⅱ」の履修を希望する者は、課題を 9 月 24 日(木) 17 時までに提出したうえで、以下の説明会
に出席する必要があります。

■実施形式:対面

※欠席や遅刻での参加は一切認めません。

※期日までに課題を提出しなかった者の参加は認めません。

※参加できなかった場合は、2027 年度の博物館実習を履修
できません。

■履修資格

2026 年度末までに、以下の 4 科目を履修済みの者

「博物館概論」 「博物館経営論」

「博物館資料論」 「博物館情報メディア論」

■持ち物 学生証、筆記用具

■日程

<今出川校地>

2026 年 12 月 10 日(木) 6 講時～(時間厳守)

場所:良心館 103 教室(RY103)

※京田辺校地を主たる通学校地とする学部の学生においても、
今出川校地での参加が必要です。

※当日 5 講時まで京田辺校地で授業がある学生は、必ず事前
に申し出てください。

■課題：9月24日（木）17時締切【厳守】

以下、課題①、課題②、課題③の順でまとめ、左上でホチキス留めをしたうえで提出すること（課題②、課題③はA4サイズのみ提出可）。

提出先は、免許資格課程センター事務室とするが、主たる通学校地の窓口に提出すること。

（例：文学部は今出川校地、心理学部は京田辺校地のみ提出可）

課題①京都市キャンパス文化パートナーズ制度の優待施設（館園）へ行き、その半券を提出すること（今年度8月以降のものに限る）。帰省等により、優待施設の館園へ行くことが難しい場合は、これに類する地元の館園でも可とする。



京都市キャンパス文化パートナーズ制度

課題②レポート（手書き）

履修した学芸員科目（博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、博物館情報メディア論等）で学んだことについて、課題①で訪ねた美術館や博物館で観察した状況を踏まえて2,500字程度で論じること。

課題③レポート（手書き）

「なぜ博物館実習の履修を希望するか」を2,500字程度で論じること。

博物館実習には、授業時間以外に博物館施設においておこなわれる博物館実務の実習（館園実習）が含まれる。受入先の館園には、非常に多忙な業務のなか多大なご負担をおかけすることになる。履修者はそのことを強く自覚し、就職活動や他の資格実習などの予定よりも、館園実習を最優先に臨まねばならない。本課題は、実習を受け入れていただく館園の方に読んでいただくことを想定し、失礼のない内容と体裁を考えて作成すること。

※課題②・③は手書きで作成すること。手書き作成が難しい事情がある場合、速やかに免許資格課程センター事務室に申し出ること。（SDA室経由で配慮申請をしている学生に限る）

※説明会においても新たに課題を提示する。期日までに提出した学生に対し、3月上旬頃に大学付与のメールアドレス宛に館園実習先希望調査を送る。履修者が多く実習先確保が困難な場合は大学院進学予定者を優先する。

■欠席時の対応について

下記の理由により欠席する場合、専用の欠席届を免許資格課程センター事務室に期日までに証明書類を添付のうえ提出してください。表中にない事由については、博物館学芸員課程代表の先生が判断されますが、アルバイトやサークル等の私的な都合は一切認めません。また、期限以降の提出も一切受け付けません。

対象理由	必要な手続き	期日
本人の病気・怪我	医師の診断書を提出（当日、安静が必要である旨の記載が必要）	説明会后、 1週間以内
交通機関の事故・不通	交通機関が発行する遅延証明を提出	
大学の正課授業	特になし（必要に応じ証明書の提出を求める場合があります） ※正課外の説明会等は含みません	事前 (説明会前)
免許資格課程センターが必修として いる正課の実習（介護等体験）	特になし	
災害	被災証明書を提出	説明会后、 1週間以内
忌引き	会葬案内、死亡診断書を提出	
学校感染症	医師の診断書または大学所定の「学校において予防すべき感染症：罹患証明書」を提出	出校停止期間終了後、 1週間以内
裁判員制度	裁判所が発行する証明書を提出	説明会后、 1週間以内
検察審査会制度	検察審査会事務局が発行する証明書を提出	

<提出期限> 11月27日(金) 17時

※専用の欠席届は免許資格課程センター事務室で配付します。

<提出先> 主たる校地の免許資格課程センター事務室

※急な発熱、体調不良で欠席しなければならない場合は、説明会開始までに免許資格課程センター事務室へEメール（宛先:ji-menky@mail.doshisha.ac.jp）で申し出ること。

なお、いかなる事由であっても上記証明書類の提出は必須です。